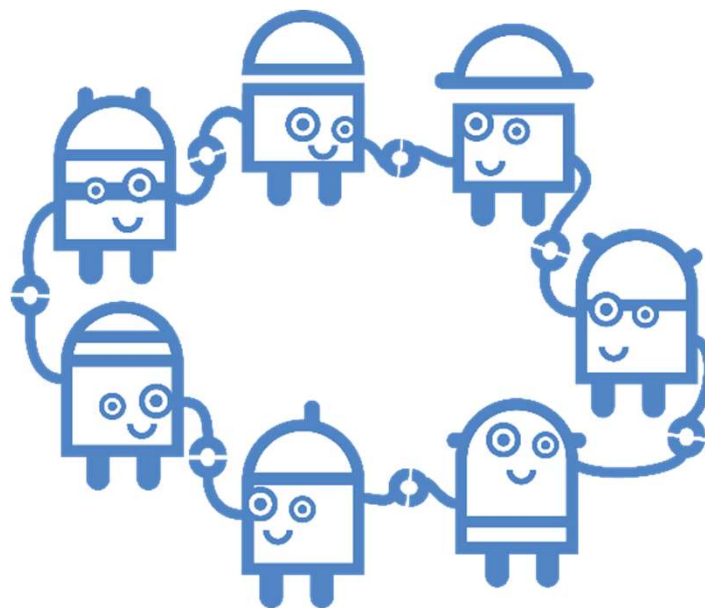


RPAあるある



RPA あるある ①

■ 業務分析をし過ぎて、いつまでたってもRPAを導入できない？

- ➔ RPAを導入することが目的になっていませんか？
業務整理や会議ばかりしてても何も始まりません。
まずはスモールスタートをして成功体験を積んでいくことが重要です。

■ 簡単に作れると聞いていたが、実はそうでもない？

総務や経理などの業務部門だけで導入・運用が可能と聞いていたが・・・

- ➔ 入り口は簡単そうに見えますが、それなりのITスキルが必要です。
マクロやVBAが使える程度の知識があった方が習得は早いです。
教育トレーニングを受けるという手もありますが、それなりの時間とお金が必要です。

■ ロボット開発は、思ったより手間が掛かる !?

- ➔ デバックとも呼ばれますが、開発しながらバグや欠陥を見つけることが重要です。
例えば、ステップ実行や選択実行、画像マッチングが出来る製品の場合、
早くロボット開発が出来ます。
変数の中身がリアルタイムに確認できると、尚 良いでしょう。

RPA あるある ②

■ フローチャート型とスクリプト型って どう違うの？

- ➡ フローチャート型RPAツールの場合、多数の分岐や複雑なプロセスになると見た目だけでなく保守運用の面でも手間が掛かります。
また、業務プロセスが変わったら全部やり直しになる可能性もあります。
保守運用がやり易く、必要な作業をコンポーネント化できるRPAツールを選択しましょう！

■ WindowsとInternet Explorerでしか動作しないの？

- ➡ 殆どのRPAツールはWindows かつ Internet Explorerでしか動作しません。
(Microsoft社は、Internet ExplorerではなくEdgeの利用を推奨中)
AS400等のレガシーシステムや iOS や Linux で動作するRPAツールは殆どありません。

■ 実行したらすぐ停止 なぜ？ 端末や解像度が変わると動かないの？

- ➡ 座標軸を主体としたRPAツールは座標が変わると停止します。
Excel等のアプリケーションをRPAで自動化した場合は、Excelのバージョンが変わると動かないことが多々あります。
画像認識度が低いと、解像度の差や画像が見つからないことで停止します。

RPA あるある ③

■ 思ったよりも早くないねー？

RPAが遅いの？ 動作が早すぎると止まるって ということ？

- ➡もちろん人が操作するより早いですが、動作が遅い製品もあります。逆に動作が早過ぎると、入力画面が表示される前にデータを入力しようとして止まるので、あえてwaitコマンドで動作を待たせる製品もあります。スペックの低いPCの場合は当然動作が遅いので、通常業務で使っている程度のPCスペックは必要です。

■ Excelのファイルサイズが大きいと、RPAを入れても早くならない？

- ➡Excel等のアプリケーションを立ち上げてから操作を開始する製品の場合は、Excelを開いたり操作するのに時間が掛かります。API連携をしている製品であれば、Excel自体を開かないので かなり早いです。

■ サーバー型とデスクトップ（クライアント）型

- ➡RPAツールは大きく「サーバー型」と「デスクトップ（クライアント）型」に分けられます。サーバ型はスピードが速く、保守や管理面での優位性がありますが、高い技術スキルを求められ、価格も高くなります。デスクトップ型はPCにインストールして利用するタイプで、比較的安価です。

RPA あるある ④

■ 毎年、ライセンス費用が必要な!?

- ➡ 殆どのRPA製品はサブスクリプションライセンスと言って毎年ライセンス費用が必要となります。
またInstall BaseのライセンスやNamedライセンス、Concurrentライセンスなど色々なライセンス体系があります。
 - ※ Install Base : インストールするPC台数に対する課金
 - Namedライセンス : ユーザ数による課金
 - Concurrentライセンス : ユーザ数ではなく、同時接続数での課金

■ RPA製品は サポートが悪い !?

- ➡ RPAツールは業務担当者が自分でロボットを開発・運用するというのが基本コンセプトなので、サポートレベルは低くなりがちです。
また売り切りの会社も多く、残念ながらサポートレベルが低い会社もいます。
評価版が有料の製品もありますし、評価版をポンと渡されて「使ってみて下さい」と導入前のサポートをして貰えない場合もあります。

じゃあ どうすればいいの！

■ ツールも業者も きちんと選別しましょう

- 色々な製品があり、それぞれ得手不得手があるので、自社に合った製品を選びましょう！もちろん相談にしっかり乗ってくれて、技術力のある業者を選びましょう。

■ PoCは 大事です

- **P**roof **O**f **C**onceptの略で、「概念実証」という意味です。
導入の前段階に、自社の環境や要件に適合するかを検証することで実際に使えるかどうかを確認することを言います。
一般的には実環境に近い検証環境（ミニチュア的な環境）でRPAを試してみます。

■ まずは スモールスタート

- 業務整理や会議ばかりしてても何も始まりません。
RPAを導入することが目的ではなく、RPAを有効活用して業務を効率化したい訳ですから、まずはスモールスタートをして小さな成功体験を積みましょう！
また全ての業務を一気にRPA化するのではなく、RPA化できそうな業務から少しずつRPA化していくことで少しでも早く効果を出すことが大切です。



RPAに関するご相談は

➡ 株式会社セールスアシスト
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15
info@sales-ashisuto.com